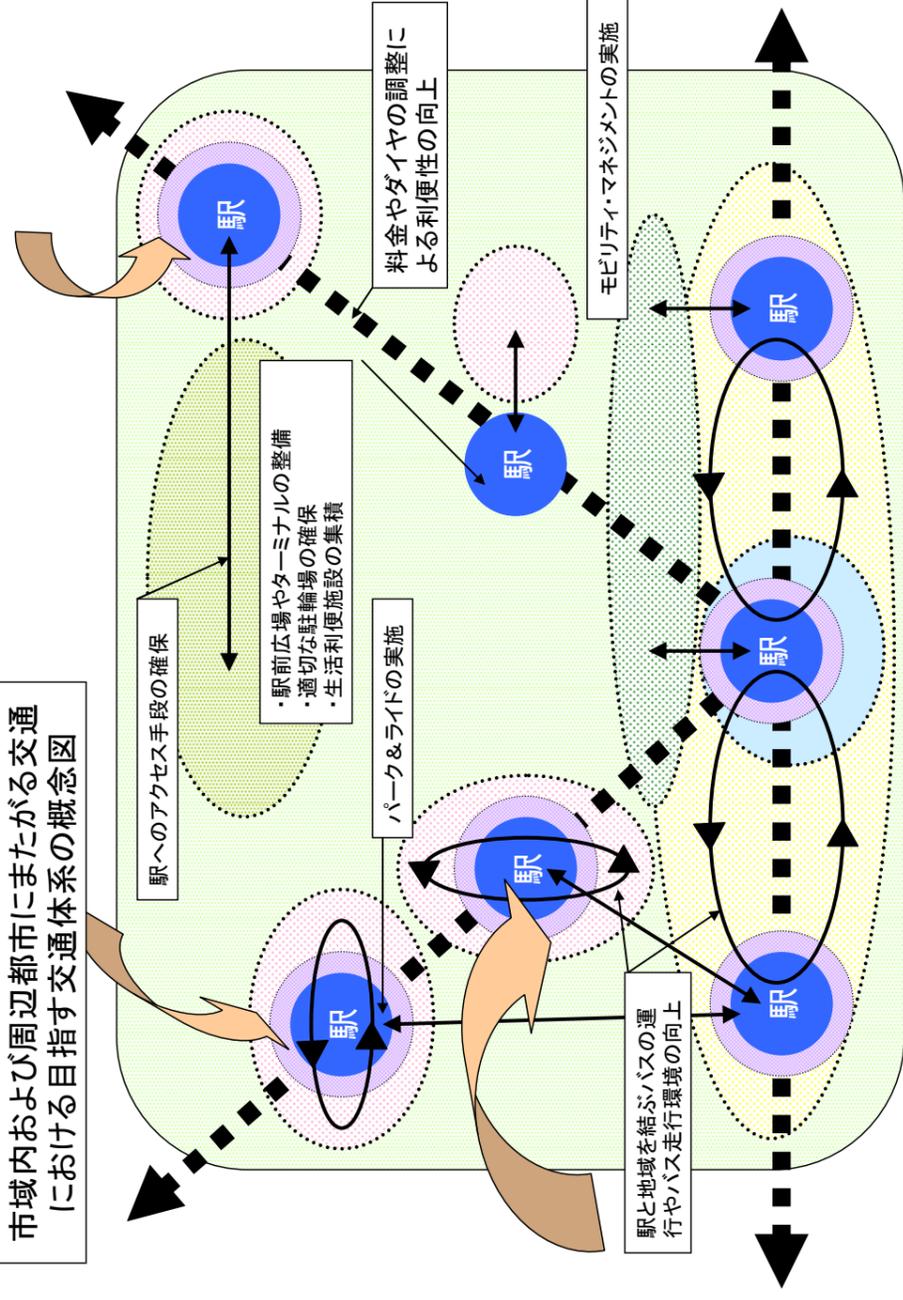


## 地域毎の取り組みの方向性、施策

- 市域内および周辺都市にまたがる交通
- 地域内交通  
(既成市街地、山麓部、観光地)

現状	現況課題や将来想定される課題	取り組みの方向性	施策
<p>・臨海部東西の移動では比較的鉄道の分担率が高い</p> <p>・鉄道沿線のニュータウンでは人の入れ替わりが少なく高齢化が進行しているところが多い</p> <p>・鉄道は主に通勤での移動手段として利用されているが、郊外鉄道では沿線ニュータウンの高齢化などにより利用が減少している</p> <p>・公共交通が運行しているにもかかわらず自動車分担率が高い移動がある</p> <p>・鉄道と併走するようなバスの運行がある</p>	<p>より高齢化が進行することで鉄道利用者はずっと減少し将来的に鉄道の運行サービスの維持が課題となる</p> <p>① 郊外ニュータウンの高齢化により、鉄道運行のサービスレベルの低下が予測される</p> <p>② これまで以上に鉄道利用率を高めるためには、利用者が鉄道へアクセスしやすいよう、駅の交通結節機能やアクセス交通の利便性の維持・向上が求められる</p> <p>③ 公共交通で対応できない移動需要に対しては、かきこい自動車の使用方を工夫が必要である</p>	<p>① 鉄道の利便性の維持・向上</p> <p>② 居住地から駅へのアクセス性の向上</p> <p>③ かきこいクルマの使い方の推進</p> <p>〔関連施策〕</p> <p>駅前広場の利便性の高い地域への住居促進</p> <p>駅前周辺への生活利便施設の集積</p> <p>移動機会の創出</p>	<p>乗り継ぎ利便性の向上(バス・鉄道乗継割引、IC相互利用化等)</p> <p>ICカードや企画乗車券などを用いた料金施策の実施</p> <p>運行ダイヤの見直し</p> <p>居住地と駅を結ぶバス路線の維持・形成</p> <p>駅へ向かうバス路線におけるバス優先レーン等の導入</p> <p>公共車両優先システム(PTPS)の導入</p> <p>駅前における駐輪場の確保</p> <p>パーク＆ライドの実施(バス運行の困難な地域)</p> <p>駅前広場の整備・改良</p> <p>モビリティ・マネジメントの推進</p> <p>郊外鉄道沿線ニュータウンへの若年世帯の居住推進</p> <p>生活利便施設が入居する駅ビルなどの整備</p> <p>ウォーキングイベントなどの開催</p>

市域内および周辺都市にまたがる交通における目指す交通体系の概念図

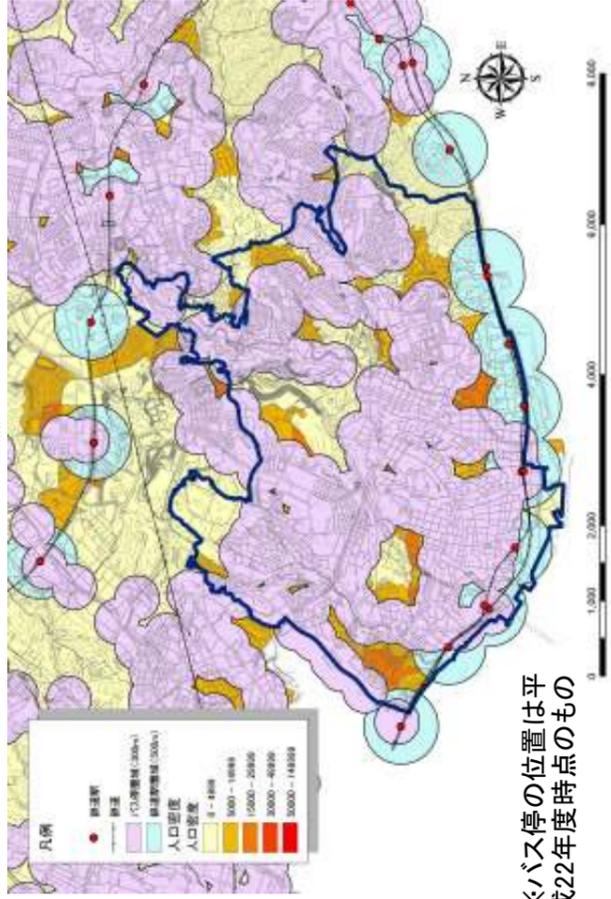
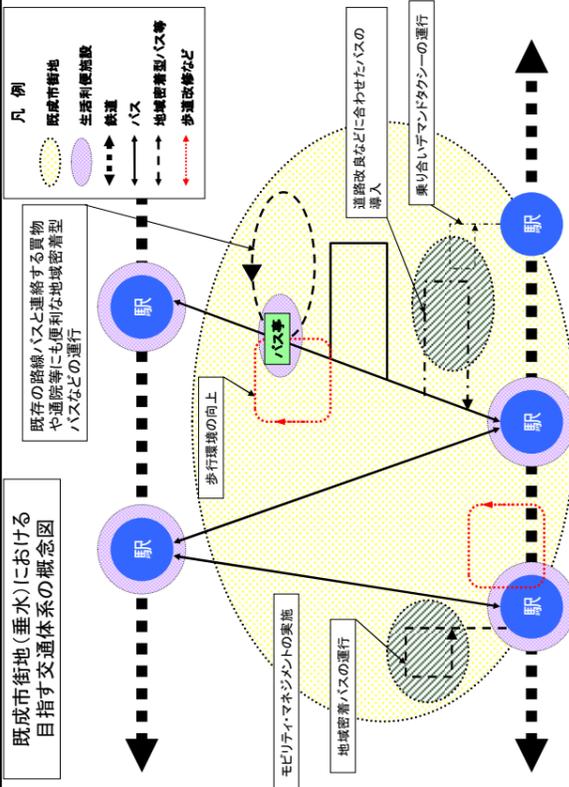


※モビリティ・マネジメント  
 一人一人のモビリティ(移動)が、個人的にも社会的にも望ましい方向(すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向)へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通施策

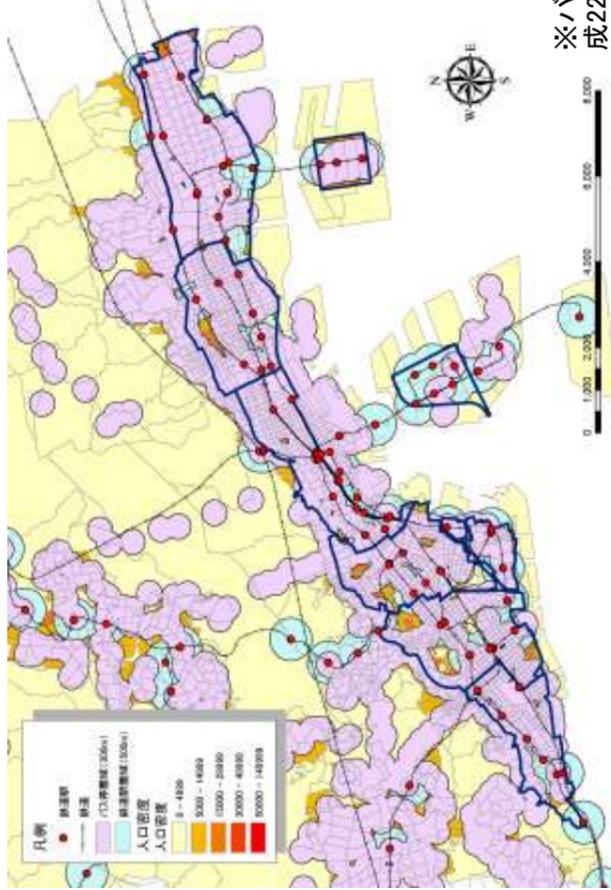
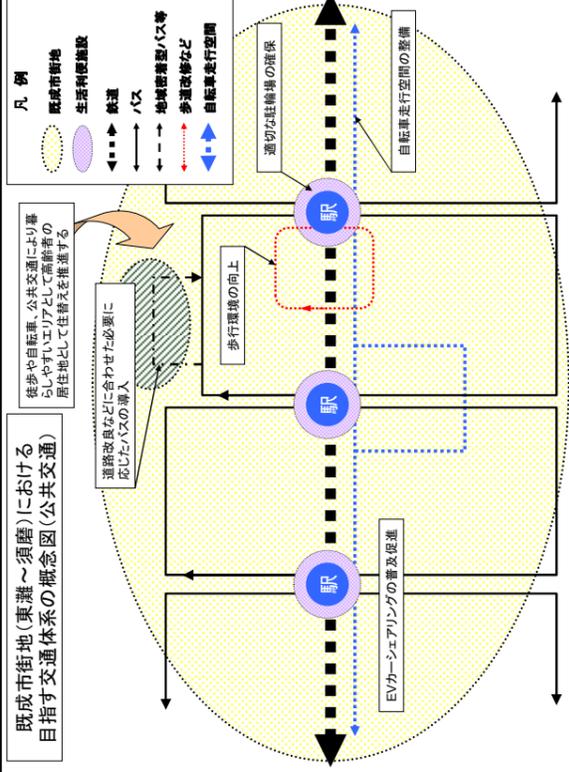
※公共交通車両優先システム(PTPS)  
 ※公共交通車両優先システムとバス事業者のバスロケーションシステムとを有機的に結合した公共交通優先システム。路上の光学式車両感知器とバス車載装置間で双方方向通信を行い、バス優先信号制御、バスレーン内違法走行車への警告、バス運行管理支援、所要時間表示などをリアルタイムで行うシステム



現況	現況課題や将来想定される課題	取り組みの方向性	施策
<p>[東灘～須磨]                      ・公共交通が比較的充実し公共交通の分担率が高い                      ・徒歩の分担率も高く歩いて暮らせる環境が整っている                      ・比較的平坦な地形で自転車の分担率が高い                      ・密集市街地など道路が狭く路線バスが運行できないところがある</p> <p>[垂水]                      ・勾配が急な地形を含み鉄道駅から距離のある地域が多い                      ・バスの分担率が比較的高く、特に駅へのアクセス交通でその傾向が顕著である                      ・密集市街地など道路が狭く大型の路線バスが運行できないところがある                      ・地域内の移動で自動車の分担率が比較的高い                      ・勾配が急な地形を含む地域であるが徒歩の分担率も高い</p>	<p>東灘～須磨では徒歩と公共交通を中心に暮らすしやすい地域として交通環境の維持、向上                      垂水では勾配が急な地形があり自動車を利用できない高齢者の増加に伴ってバス等の公共交通利用に対するニーズが高まるものと予想される</p> <p>①地域と近隣駅や生活利便施設を結ぶ移動手段が不足することが見込まれる                      ②道路が狭い場所では公共交通の導入が難しく、高齢者などの移動が困難となる                      ③自転車の通行量が多い道路などにおいて歩行者と自転車が輻輳している                      ④高齢化が進行するなかでより歩きやすい歩行環境が求められる                      ⑤バスで対応できない移動需要に対してかこい自動車を使い方を工夫が必要である</p>	<p>東灘～須磨においては徒歩や自転車、充実した公共交通網をより使いやすくすることで、移動しやすい交通環境の向上を図る                      垂水においては既存の路線バスと、よりきめ細やかに運行する交通手段を活用して移動しやすい交通環境を目指す</p>	<p>きめ細やかなバス路線の運行                      バス停での滞留できるスペースの確保                      商業施設などと連携した運賃割引などの導入                      乗り合いデマンドタクシーの運行                      小型車両などを用いた地域密着バスの運行                      道路改良に合わせたバスの運行                      自転車走行空間の整備                      適切な駐輪場の確保                      段差や波うちの解消                      ベンチなどの休憩施設の設定                      緑陰空間の整備                      カーシェアリング、相乗りなどの推進                      モビリティ・マネジメントの推進</p>

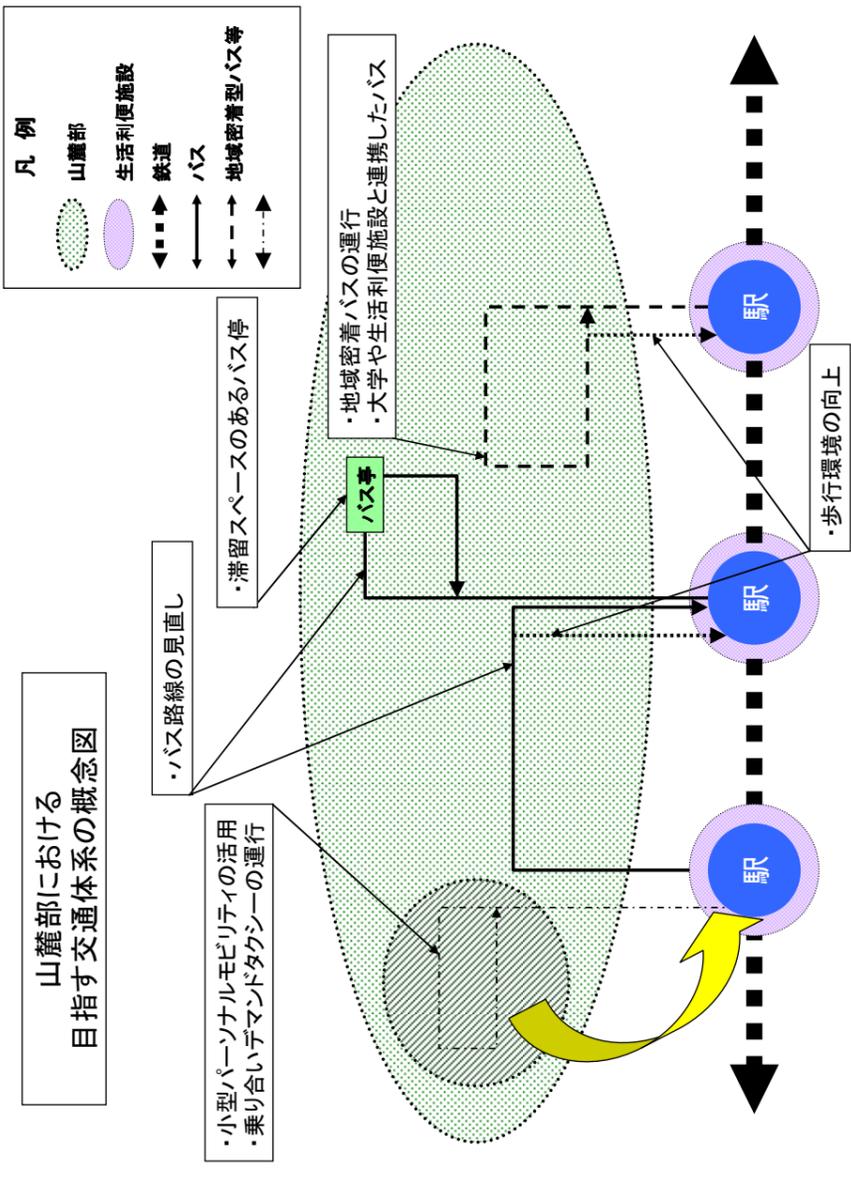


※バス停の位置は平成22年度時点のもの



※バス停の位置は平成22年度時点のもの

現状	現況課題や将来想定される課題	取り組みの方向性	施策
<p>・他の地域と比較してバスの分担率が最も高く、特に高齢者でその傾向が顕著である</p> <p>・道路が狭く路線バスが運行できないところや、自動車が走りにくいところがある</p> <p>・勾配が急な地形が多いが、徒歩の分担率はそれほど低くはない</p> <p>・大型バスが運行できないところで地域住民が主体となって、小型の車両を使ったバスの運行が実現したところがある</p>	<p>徒歩での移動や自動車利用が困難な高齢者の増加に伴って、日常生活での移動手段の確保が課題となる</p> <p>①高齢者はバス停までの移動が困難となり、路線バスの利用率の低下により、運行の維持が困難になる</p> <p>②道路が狭いところでは、公共交通の導入が難しく、高齢者などの移動が困難となる</p> <p>③高齢化が進行するなかでより歩きやすい歩行環境が求められる</p> <p>④バスで対応できない移動需要に対して、かきこい自動車の使い方を工夫が必要である</p>	<p>路線バスの維持や道路が狭いところにも対応するきめ細やかな交通手段の活用を図るとともに、徒歩でも暮らしやすい環境を維持・形成する</p> <p>①路線バスの維持に向けた利便性の向上</p> <p>②道路が狭い場所での移動手段の確保</p> <p>③歩行環境の維持・向上</p> <p>④かきこいクルマの使い方の推進</p>	<p>きめ細やかなバス路線の運行</p> <p>バス停での滞留できるスペースの確保</p> <p>小型車両などを用いた地域密着バスの運行</p> <p>大学や生活利便施設と連携したバスの運行</p> <p>乗り合いデマンドタクシーの運行</p> <p>道路改良に合わせたバスの運行</p> <p>小型パーソナルモビリティの活用</p> <p>段差や波うちの解消</p> <p>ベンチなどの休憩施設の設置</p> <p>カーシェアリング、相乗りなどの推進</p> <p>モビリティ・マネジメントの推進</p>
[関連施策]		③移動環境の改善が難しい場所の住み替え	住み替えの誘導



上図:主に長田・兵庫区に隣接する山麓部  
 下図:主に灘・東灘区に隣接する山麓部



〔総合交通計画において示す言葉の定義〕

言葉	定義	具体例
○公共交通	不特定多数の人が利用する交通手段 ・鉄道事業法に基づく鉄道 ・軌道法に基づく軌道 ・道路運送法に基づく一般乗合旅客自動車及び一般乗用旅客自動車 ・海上運送法に基づく一般旅客定期船 ・航空法に基づく航空機	・鉄道(JR、私鉄、地下鉄) ・軌道(ポートライナー、六甲ライナー、ケーブルカー) ・一般乗合旅客自動車(市バスや民間バス事業者が定時・定路線で運行するバス) ・一般乗用旅客自動車(タクシー) ・一般旅客定期船(旅客フェリー) ・航空機(旅客飛行機)
○地域密着バス	地域が積極的に運行計画や利用促進に参画し交通事業者やNPOなどが運行するバス	住吉台くるくるバス、地域密着型バス(神戸市バス)、淡河町・ゾーンバス(過疎地有償運送)
○路線バス	道路運送法に基づく一般旅客乗合自動車(地域密着バスを除く)	
○バス	路線バスおよび地域密着バス	